

登録コード	T2008400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究(電情)(16T以降)					担当教員	藤原 洋志 他
英文授業名	Graduation Thesis					副担当	橋本 佳男・LIU XIAOXI
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ						
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				工学の専門分野の研究を進めるための基礎学力を定着させ、それを応用することができる。		
	【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。				これまでに学んだ専門的知識を基礎として、必要な情報を的確に収集・理解しながら卒業研究を実施し、成果を、適切な考察を加えた研究報告、卒業論文等として他者に発信することができるようになる。		
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				卒業研究を通して、様々な課題を見つけ、その解決に取り組むことができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	指導教員と相談して、卒業研究の課題を決定する。この課題に関して、研究（研究背景の調査、研究目的・研究計画の具体化、実験、解析、考察など）を実施する。研究の実施に当たっては、適宜、指導教員と相談し指導を受ける。また、研究室ゼミ等で定期的にプレゼンテーションをして指導教員、他の学生と議論する。研究成果をまとめ、発表を行うとともに、卒業論文を作成し、提出する。						
(5)授業計画	1．指導教員との面談の上で研究課題を決定 2．研究計画の企画・立案 3．研究の実施 4．指導教員との研究打合せ 5．研究室等での研究報告会 6．卒業研究発表 7．卒業論文の作成と提出、授業アンケート						
(6)成績評価の方法	研究の過程，研究成果，卒業研究発表会の内容等を総合的に評価する。 （秀：90点以上～100点、優：80点以上～89点、良：70点以上～79点、可：60点以上～69点、不可：60点未満）						
(7)成績評価の基準	課題に取り組み，卒業論文にまとめられ、他者に対してそれが説明できるかどうかを評価する。 ・特に優れた研究貢献のあった者を「秀（卓越している）」， ・工学士として十分な成果があった者を「優（かなり上にある）」， ・工学士にたる成果があった者を「良（やや上にある）」， ・十分ではないが，成果が認められる者を「可（水準にある）」とする。						
(8)事前事後学習の内容	研究室または自宅で十分な事前事後学習を行い，研究に臨むこと。						
(9)履修上の注意	卒業研究を課された者のみ履修できる。卒業研究が課される条件については，学科ガイダンス，入学年度の学生便覧や学習の手引きを参照のこと。						
(10)質問,相談への対応	指導教員が対応する。 指導教員が対応できない場合は，他の教員（学務委員、学科長等）に相談すること。						
(11)その他							
【教科書】	指導教員に問い合わせること。						
【参考書】	指導教員に問い合わせること。						